

第2回
国際ダンスコンペティション
International Dance Competition

fusion of art
~dance, music and kagura~

芸術の融合
石見神楽

2022
8月21日(日)
18:00開演

山口県 渡辺翁記念会館 宇部市 (大ホール)

見

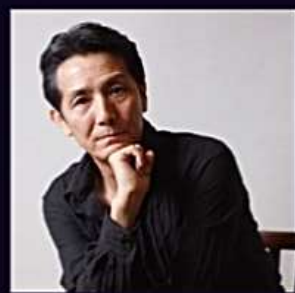
日本遺産石見神楽と世界で活躍する
アーティスト達の様々な融合
ジャンルを超えた本物のステージ



ソン・イ



柴山紗帆



加藤敬二



KENTO MORI



針山愛美



モンゴル松尾



Queen V



前田順三

石見神楽

時代と共に変革をもたらす伝統芸能



大阪万博での上演を機に石見神楽は全国に知られるようになり、海外公演も幾度も行われ、日本文化の交流にも一役買って来た。そのスケールの大きさとダイナミックな動きで絶賛を得た「大蛇」を含め、演目は30種類以上にのぼり、例祭への奉納はもとより、各種の祭事、祝事の場に欠かすことのできないものとなっており、広く誇れる郷土芸能である。
古くは蛇胴の発明や花火の使用等で見る者の度肝を抜き、昨今では、地域の物語などを神楽化した各社中ごとの創作神楽や、舞台演出を凝らしたステージ神楽も台頭しており、伝統芸能としては希な広がりを見せてきているのも石見神楽の特徴である。



ソン・イ(バレエダンサー)

イギリス国籍(中国、青島生まれ)。14歳よりバレエを始める。2005~2012年英国ノーザン・バレエ団に在籍。2012年に日本へ移住し、国内外でバレエインストラクターとして活動。現在は Yiris Ballet、新国立劇場、K バレエカンパニー、スターダンサーズ・バレエ団、昭和音楽大学バレエコース、スタジオ アーキタンツに

おいてバレエ講師を務める。2016年早稲田大学国際教養学部卒業、2018年早稲田大学商学研究科卒業。



柴山紗帆(バレエダンサー)

東京都出身。田中洋子、スヴェトラナ・オシエヴァ、デニス・マーシャル、マジョリー・グルントヴィに師事。バレエスタジオDUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。

2014年にソリストとして新国立劇場バレエ団に入団し、『くるみ割り人形』『シンデレラ』『白鳥の湖』『ラバヤデル』『ライオンダ』『こどものためのバレエ劇場『竜宮 りゅうぐう』』などで主役を踊り、好評を博した。21年ファースト・ソリストに昇格。



加藤敬二(ジャズダンサー)

1978年 金沢市アルスタンシングスタジオ、園田洋子先生にジャズ、バレエを学ぶ
1980年 名倉加代子ジャズダンススタジオで学び、カンパニー公演参加
1983年 世界マジックハワイ大会 出場 / ニューヨークダンス留学
1984年 劇団四季キャッツのオーディションにて入団/ミストフェリーズ役 出演
1998年 長野オリンピック開会式 振付

2001年 ミラノ・スカラ座 トゥーランドット 振付
2015年 D23EXPO JAPAN 構成/演出(劇団四季)
劇団四季ミュージカル「アラジン」初演 スーパーバイザー
2016年 劇団四季ミュージカル「ウエストサイド物語」演出助手
2018年 劇団四季ミュージカル「キャッツ」振付 劇団四季 退団
2019年 高嶋政伸 リーディングセッション「湯たんぼを持った脱獄囚」出演
浅利慶太先生追悼公演 思い出を売る男 出演
燦プロデュース 設立(ワークショップ中心にクリエイター、俳優として活動)



KENTO MORI(ダンスアーティスト)

マイケル・ジャクソンやマドンナ、世界が認めたダンスアーティスト これまでにマドンナ、クリス・ブラウン、アッシャーなど、世界的トップアーティストの専属ダンサーを務め、世界の最前線の舞台・ツアーで活躍。

グラミー賞をはじめとする数々のアワードへの出演も果たし、これまで全世界5大陸50カ国200以上の主要都市においてパフォーマンスを行う。近年はダイナミックな展開を取り入れた70曲以上のオリジナル楽曲と、世界最高峰のデジタルアート集団「Moment Factory」との共同プロジェクトで開発した最先端のARをLIVEで生成するパフォーマンスを掛け合わせ、世界に未だ無い新しい表現を追求している。2021年より、様々な自治体と、#日本を世界へプロジェクトを展開している



針山愛美(バレエダンサー)

ポリショイバレエ学校を首席で卒業。モスクワ音楽劇場バレエ団、エッセンバレエ団(ドイツ)、米国バレエインターナショナル、クリーブランド・サンホセバレエ団、ボストンバレエ団でプリンシパルとして、ウラジーミル・マラーホフ率いるベルリン国立バレエ団で10年間活躍。
著書に「世界を踊るトゥシューズ」
2021年4月豊中市立文化芸術センターの舞踊部門プログラムディレクターに就任。

2021年12月「One heart」、2022年1月「With love from Malakhov」公演をプロデュース主催する。



モンゴル松尾(キーボード奏者)

地元での音楽講師などを経験した後に上京。オリジナルバンド「Lonely Hearts」を結成し活動を開始、イカ天や香港での音楽イベントに出演。その後ソロとなりジョン・レノン・スーパーライヴ、Char氏のシークレットライブ等、さまざまなセッションに参加する一方で、キーボード・マガジン等音楽雑誌の執筆や音源制作にも関わる

ようになる。
著書:「これで完璧 ピアノの基礎」(リットー・ミュージック)「これで完璧 シンセサイザーの基礎」(リットー・ミュージック)



Queen V (シンガー)

2005年 ザ・インカンタブル・サウンズ・オブVTB メンバーとしてデビュー
2006年 ホテルグラマシーと専属歌手契約
2007年 Queen V としてソロデビュー
2007年 横須賀米軍基地ライブ
2007年 MI MUSIC SCHOOL にてボイストレーナーを担当
2009年 IMS 設立によりボイスインストラクターを担当
2014年 ドラゴンフライズ (バスケット) 第

1回開幕戦 国歌斉唱
2019年から 法務局人権擁護講師子供達の未来や、外国人、障害者のサポートや講演などを行う。
最近では、ボイストレーニングを取り入れたボーカルセラピーなども積極的に行い、精神疾患を音楽の力でサポートできるように取り組んでいる。



前田順三(ベース奏者)

Liveはもちろんの事、様々なアーティストとのレコーディングやCMなどの作品にも参加し現在に至る。エレキベース・ウッドベース共にプレイし、ジャンルに囚われない前田流の音からはソウルが聞こえてくると各界から絶賛を浴びている。一言にける情熱は誰よりも熱い。国内外のトップミュージシャンとの共演、サポートも多数務める。

最近では村上"ポンタ"秀一氏(ds)と PONTA BOX & 未唯(ピンクレディー)でツアー参加。勢力的に活動中。好評を得ている。